

図 子どもや保護者が発するSOSサイン

子ども

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- 不自然な外傷（あざ、打撲、やけどなど）がある
- 衣類や体が極端に不潔である
- 食事に異常な執着を示す
- ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- 表情が乏しく活気がない

保護者

- 地域や親族などと交流がなく、孤立している
- 小さい子どもを家に置いたまま、よく外出している
- 子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- 子どもを甘やかすのは良くないと強調する
- 子どもに対して拒否的な発言をする
- 気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることがある

SOSサインを見逃さないで！



SOSサインを見逃さないで！



いちはやく 189ちいさな 命に待ったなし

11月は児童虐待防止推進月間

虐待されている子どもたちを守ることができるのは「あなた」かもしれません。つなげてください、「あなたの声」を。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

11月は児童虐待防止推進月間で、早い段階で発見し、対応することが重要です。怒鳴り声や子どもの泣き声が聞こえたり、子どもがいつもと違うと思ったら、それは子どもや保護者からのSOSのサインかもしれません。（図）

しつけと虐待は違う

しつけは、子どもが自分で感情や行動をコントロールできるように大人が教えることで、虐待は、子どもの行動を暴力などでコントロールすることです。しつけのつもりでも、子どもにとって有害な行為であれば虐待です。

周りの大人は迷わずに連絡を

子どもは、自分から助けを求めることが難しく、周囲の大人が気づくことが必要です。「虐待かも」と思ったなら、迷わず連絡してください。ちょっとした気付きとひと声子どもを虐待から守り、子育てに悩む保護者を救うきっかけにつながります。

虐待を知らせるSOSサイン

子どもを健やかに育むために

児童虐待を防止するためには、しつけと称して、子どもをたた

▽SOSサインを見つけたら

児童相談所 全国共通ダイヤル
（お近くの児童相談所につながります）

いち はやく
189
24時間

帯広市児童虐待防止110番
☎21-0110

連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

▽子育てに悩んだら

帯広児童相談所（☎22・5100）
子育て世代包括支援センター（子育て支援課内、☎25・9700）

子育てに役立つ情報を掲載しています



すこやかネット



帯広子育てナビ

「子育てがづらい」「子どもの気持ち分からない」などの相談に応じています。

愛の鞭（ゼロ）作戦

- *子育てに、体罰や暴言を使わない。
- *子どもが親に恐怖心を持つと、SOSを伝えられない。
- *爆発寸前のイライラをクールダウン。親自身が周囲にSOSを出そう。
- *子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援する。

いたり、怒鳴ったりすることは、子どもの成長には、悪影響となる可能性があります。体罰によらない子育て「愛の鞭（ゼロ）作戦」を進めましょう。



5年に一度の「全道阿波踊り大会」で披露



帯広競馬場スタンド前で阿波おどりを披露

来帯中、徳島県阿波踊り協会から選抜された踊り手と鳴り物の皆さんによる阿波おどりを、おびひろ平原まつりで5年に一度開催される「全道阿波踊り大会」で披露しました。

親善訪問団の皆さんは、徳島市と帯広市のより一層の交流促進に尽力していただき、帯広市民が姉妹都市・徳島市の魅力をさらに深く知るきっかけとなりました。

徳島市親善訪問団が本場の阿波おどりを披露

徳島市との周年事業による相互派遣は、交流間隔が空かないよう2年ずらして行っており、今年8月に、徳島市から31人の阿波おどり親善訪問団が来帯しました。



阿波おどり体験の様子

産業文化姉妹都市・徳島市との記念事業

さらに訪問団は、帯広競馬場でも阿波おどりを披露したほか、阿波おどり体験や写真撮影を通じて来場者と交流しました。

問い合わせ 親善交流課（市庁舎3階、☎65・4133）

帯広の夏を彩った 阿波おどり

姉妹都市締結35周年記念事業